

ジャパンクラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

4月度理事会報告

ジャパンクラブ・ガレージセール開催日(5月10日)迫る!

会の活性化の為に種々な企画が話し合われる

ジャパンクラブ4月度理事会は4月12日(土)午後4時からサンマテオの
 榎木マーケット2階にて8名の理事が出席して行なわれました。

議題1. ガレージセールについて

今年のカレージセールは5月10日(土)午前8時30分~午後2時30分の
 予定で昨年同様、2717 Trousdale Dr. Burlingame に於いて開催されま
 す(裏面の記事及び地図を参考にしてください)

今年も会員の方々を始め多くの方から沢山の品物のご寄付をいただき
 ました、お友達もお誘いの上ぜひおいで下さい。

商品となる品物のご寄付や、当日のお手洗い等のお申し出、質問等は
 担当の北理事(650)714-5958 までお問い合わせください。

議題2. 創立20年を迎える会の「活性化を図る」取り組み

宇田川理事から、経過報告があり、ベイスポの「ベイエリアに暮らす」欄に
 上野会長が取り上げられた事、ベイスポ「eじゃん」の「ベイエリア日系サポ
 ート団体」欄にジャパンクラブを登録した事が報告されました。今後これら外
 部への会の紹介に伴い、会に対する照会等に対処する為、URLの充実を図
 り、会長の挨拶を新たに加える様にする事になりました。

「税金問題セミナー」古田理事からの現時点までの進捗状況の報告があり
 ました。開催はジャパンクラブの他の行事と重ならない10月頃をメドに検討
 しています。

「テスラ工場見学」大隅理事、榎木理事がさらに詳細を調べ、日時を決めて
 参加希望者を募る事になりました。

「会員アンケート」先月実施した会員アンケートには多くの会員から回答が
 寄せられました、宇田川理事によって集計され、今後の活動に役立てられる
 事になります。

「他の日系団体との交流」に関して

第1回「シリコンバレー大運動会」にジャパンクラブ会員の参加が可能かど
 うか具体的な内容を宇田川理事が調査中です。

「さくら学園」とのコラボレーションについて、先日シュミット理事、宇田川
 理事と事務局から古田理事が学園を訪れ、学園長、事務局担当者を交え意
 見を交換しました、その結果色々な話しができましたが、まずは容易な事から
 始めましようとする事になりました、それに先立ってお互いがもう少し良く理
 解し合える様に、9月のジャパンクラブBBQピクニックに参加していた
 だく為の案内を送る事とし、学園側からは10月頃に予定される創立10周年
 記念式典への参加案内が出される事になっています、この様な交流を手始
 めに良い関係が構築される事を願っています、今後シュミット理事、柏原理事
 が中心になって進めていきます。

「準会員」制の提案 古田理事からの提案で以前ジャパンクラブ会員であ
 った人が日本永住帰国あるいはベイエリアから遠地に移転したためやむな
 く退会された人々に準会員になっていただく案、具体的な制度を決め度前向
 きに検討する事になりました。

・5月度理事会について変更がありますのでご注意ください

5月度理事会の日(5月10日)がガレージセールと重なる事と、ガレージセールに
 多くの理事の方々が参加される事を考え、理事会をガレージセール終了後同地
 で開く事になりました、どうぞお間違えのないようお願いします。

お知らせ

アンケート結果が
 (速報)
 同封されて居ます

先月皆様にお願ひしました「アンケート」に多くの会員の皆様から回答をいただきました、ありがとうございました、まだ回答をお出しになっていない
 方は今からでもぜひ回答をお寄せください。

現在迄にいただきました回答を集計した「会員アンケート結果」(速報)がこのニュースレターに同封されておりますのでご覧ください、その上でさらに
 ご意見、ご希望等がありましたら添付されているご意見の欄に記入の上お知らせください、
 これらの皆様からのご意見はこれからのジャパンクラブの活動に反映させていきたいと考えております。

新理事紹介



斉藤悦子理事

「新理事として」

この度、理事として新しくその末席に加えさせていただきます、先輩理事の方々
 のお話や、ご意見をお聞きしながらこの任
 に当たりたいと思っております、その為にも
 理事会や今迄やって来られた会の年中
 行事には許す限り欠かさず出席するつも
 りであります。

此れからのジャパンクラブ発展の為に
 今取り組んでいる会の活性化の問題には
 皆さんと共に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

(斉藤さんの入会時の紹介記事はニュースレター206号にあります)

斎藤悦子



シュミットまり子理事

「新理事として」

この度、ジャパンクラブの理事に任命さ
 れ、戸惑いながらも責任を感じております。
 ジャパンクラブは、ベイエリアに住む日本
 の人たちが災害に遭遇した時、お互いに
 助け合える様に、と云うのが目的で設立さ
 れたとの事。発足された方々の志ざしを軸
 に助言を頂きながら、新しいアイデアも
 取り入れて将来へ継続できるような務めたい
 と思っております。親切で思い遣りのある会員
 皆様の心意気を糧に、ジャパンクラブの益
 々の発展へ向けて少しでも貢献できたら幸いです。

(シュミットさんの入会時の紹介記事はニュースレター220号にあります)

シュミットまり子

ジャパンクラブ・ガレージセール

日時: 5月10日(土)
8:30 a.m.~ 2:30 p.m.

場所: 2717 Trousdale Dr.
Burlingame

素晴らしい品物が沢山あります、お友達と
お誘い合わせの上ぜひおいで下さい



「安否照会システム」「緊急一斉メール」 有事の際の領事館の連絡体制について

昨年ハワイに移られた大槻さん(会員)から“現地の領事館から先日のチリ北部地震をうけて早速、津波に対する警報が電子メールで届き、何となく領事館、日本政府に見守られている事を心強く思った”と知らせて来ました。この「緊急一斉メール」につきましては以前にもお知らせしておりますがまだ登録を済ませていない会員の為に改めてその方法をお知らせします。→

新住所に移転したサンフランシスコ領事館の代表電話番号が決まりました

新住所: 275 Battery Street, Suite 2100
San Francisco, CA 94111
新電話番号: 415-780-6000 (代表)

以下は在サンフランシスコ総領事館・今城康雄領事からご説明いただきました

有事の際におけるサンフランシスコ領事館の連絡体制は、「安否照会システム」と「緊急一斉メール」の二つの方法に大別されます。

「安否照会システム」につきましては、領事館ホームページ(トップページ画面右側にある)テーマ別リンク集に「安否照会システム」の項がございます。御承知の通り、本システムは緊急事態が発生した際に外務本省がホームページに特別なページを立ち上げるにより、利用が可能となります。(このシステムについてはニュースレター140号に一度取り上げられております)

また、「緊急一斉メール」につきましては、邦人の皆様からお届けを頂いております「在留届」がベースとなります。有事の場合、在留届に登録のメールアドレス宛に当館からの注意喚起等必要な事項をお伝えするシステムです。

両システム共、連絡先等に変更が生じた場合、その旨領事館に連絡する事により引き続き必要な情報が配信されます。

「東日本大震災被災地訪問記」

上野正安会長手記(日本から)

私は現在、日本に滞在中ですが、偶々被害の最も大きかった地域の一つである女川町を訪ねる機会があったので、参考迄に皆様にお伝えします。

思えば大震災の起こった2011年3月11日にも私は日本に居りました。友人と箱根に行った序でに真鶴岬を見て真鶴から電車に乗りました。次の駅の根府川で電車が停車中に大きな揺れが来て、これはかなりの地震であることは分かりました。電車は動かないまま3時間ほど経ち、夕方になって近くの小学校に避難して一晩そこで過ごしました。それだけでも色々貴重な体験になったのですが、いつかは被災地を訪問したいとかねがね思っていたところでした。そんな時に営業を開始した女川町の温泉旅館に行ってみないかと誘われたのがきっかけです。

女川町は東北屈指の漁港として有名です。人口は約1万人でしたが、震災によって900人近い人を失いました。一方、被害を受けた住居は4400棟で、その内全壊は3000棟に及んでいます。仮設住宅が最初に建てられたのここで、今は恒久住宅の建設が進められており、震災に関してTVなどでも良く取り上げられる町です。

女川町へは仙台から仙石線と石巻線乗り継いで行けることになっていましたが、現在は未だ途中が切断されており、今回は旅館の送迎バスを使いました。運転してくれた旅館の従業員が、もし宜しければ震災の跡を目せとくれると言うので、2時間に亘って震災の爪跡と3年を経た復興の現状を目の当たりにすることが出来ました。

今は瓦礫の撤去はほぼ終り、整地が進んでいますので遠くから見ると復興は着実に進んでいるようにも見受けられます。しかし、近くに行くとその中に一階部分が空洞になっている二階建ての家がポツンと残されていたり、横倒しになった鉄筋コンクリートの建物の残骸があったりして震災のすざましさを目せつけられるものが数多く見られました。又、整地が進んでいると言っても多くの箇所ですら少なくとも今回程度の津波には耐えられる高さ迄土盛りをしなければなりません。工事現場にはその高さの表示が出ていましたが、それを見ると復興には相当時間がかかることが分かります。地元の人が心配しているのは只でさえ人手不足で困っているのに、東京オリンピックでそちらのほうに人を取られてしまいそうなことです。地元の人はオリンピックで浮かれるような気持ちには到底なれないということでした。▽

それはその筈で、殆どの地元の人は肉親や身近な人を震災で亡くしており、心に受けた傷はそう簡単には治らないと思われれます。旅館の従業員に聞いた話では旅館そのものは入口の狭い万石浦の一番奥に位置し、津波の高さは精々1メートル位で済んだそうです。それでも地下の機械室には浸水し、電気系統が駄目になったので営業は出来なくなりました。一方、旅館にいた従業員達は旅館にいる限り、命に別条はなかったのですが、地震の後自分の家族や家が心配で旅館から出た人は津波に巻き込まれて亡くなったそうです。と言うのは地震の後、タイムラグをもってやって来た津波の高さは山を越えた女川湾では16メートルにも達し、それが恰も山から津波がくるように襲って来たそうです。

又、近くには山があるのですが、車で逃げようとして渋滞で逃げ遅れた人、更には二階建てなら大丈夫と思って二階に逃げて其のまま家ごと流された人、膝位の水位だったので渋滞の状況を確認めようとして車から出た途端流されてそのままになった人など様々な亡くなり方で多くの人命が失われました。現在、裁判中の七十七銀行のケースも全員が二階に避難して其のまま流されてしまいました。建物は勿論、残されていませんが、跡地に花が供えられており、私も胸に迫るものがありました。

旅館からの帰りには私は運転席の隣に座って仙台迄の2時間をずっと運転手と話をしていました。来た時とは別の人でしたが、彼は震災を通じて自然の力の大きさと人間の非力さをつくづく感じたそうです。彼の言うには今回の震災によって始めて自分の人生と真剣に向き合うようになったそうです。勿論、様々な復興のための支援は必要であります。最後は自分で自分の問題を解決する気がないと結局満足は得られないと言うことでした。すざましい体験から来る言葉だけに書物から得た人生観とは異なる迫力がありました。

幸いにして災害に遭っていない我々は色々なことをつい観念的に捉えてしまっていますが、彼が言っているように今一度、自然の力の大きさと人間の非力さを考え直す必要があると強く感じました。

上野正安